

科目	女性経営者論	担当	赤岡 美津子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

社会における女性の役割の重要性が日々喧伝されている。しかし実際に社会に進出し、ワークライフバランスを獲得し、自己実現としての労働を享受するには、未だ壁は厚い。性別役割分業の文化は根強く存在しており、生き方を限定されることも多い。本授業では、女性の辿ってきた歴史を学び、社会での女性の役割や位置づけを捉え直し、活躍している女性達からも学びたい。それを通して各人が今後のキャリアデザインをなし、社会で活躍するための可能性と方向性、具体的な「自分のこれから像」を獲得していくことを目標とする。男性諸君の受講も大いに歓迎である。

**【履修注意】**

女性キャリアマネジメントコースでは、必修となる。

内容が多岐にわたるので、毎時間の授業内容を必ず整理し、既習内容の理解に努める。また、日常的に女性労働を初めとする関連情報を積極的に収集し、自己の見解を持ち、授業に活用する。積極的に発言し、他者の意見を傾聴する。毎回のレポートは必ず提出する。他は折々に指示する。

**【評価方法】**

定期試験60%・出席点10%・レポート点20%・討論や質疑応答への参加点マナー点10%

**【試験について】**

毎回のレポートは小テストとして扱う。期末に筆記試験を行う。5回以上の欠席者は受験資格を有さない。

再試験対象者の条件：期末試験を受験し、且つ出席条件を満たしていること。

**【予習・復習】**

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

**【教科書】**

購入教科書なし。毎時間作成レジュメや資料を配布する。

**【参考書】**

『時代を生きた女達』 著者：総合女性史研究会編 朝日新聞出版・2010  
『叢書・働くということ・全8巻』 監修：橋木俊詔・佐藤博樹 ミネルヴァ書房・2009 他授業時に適宜紹介

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	総論Ⅰ・女性史 1	オリエンテーション・古代～近世の女性の状況・女大学
2	総論Ⅱ・女性史 2	明治～敗戦の女性の状況：良妻賢母主義・青鞜・大戦下の女性
3	総論Ⅲ・女性史 3	大戦後の女性の状況：憲法・民法・労働基準法・男女雇用平等法
4	総論Ⅳ・ジェンダー論 1	ジェンダーの概念・ジェンダーと言葉・ジェンダーとメディア
5	総論Ⅴ・ジェンダー論 2	ジェンダーと教育：男女別学・良妻賢母・男女共学・家庭科共修
6	総論Ⅵ・ジェンダー論 3	ジェンダーと労働：性別職務分離・生産労働と家事労働・家族
7	中間報告・研究発表	自主的なテーマを設定と、発表・質疑応答
8	各論Ⅰ・女性文化論	古典に見る女性キャリアと労働環境：紫式部論・清少納言論
9	各論Ⅱ・働く女性の現状と課題	女性の就業構造・特質・均等法の課題・継続就業支援策
10	各論Ⅲ・女性のキャリアデザイン	ポジティブアクション・非正規雇用・派遣とキャリア形成
11	各論Ⅳ・多様な働き方と社会	ファミリーフレンドリー施策・ダイバーシティ
12	各論Ⅴ・出産、子育てを巡る状況	保育制度・休業時短制度・経済的支援・目指すべき方向
13	各論Ⅵ・女性が働ける社会の展望	「女性」の視点からの働き方の変革・今後の方向性
14	事例研究Ⅰ・女性経営者研究1	女性経営者についてのグループ研究と発表①
15	事例研究Ⅱ・女性経営者研究2	女性経営者についてのグループ研究と発表②
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ